

流量調整器

【 型 式 : F L C 】

取扱説明書

このたびは、エネゲートの「流量調整器」をお求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになった後も、この取扱説明書は必ず保管してください。

注記: 理解をしやすいするために、形状などを一部省略または抽象化していることがあります。

⚠安全のために

取扱説明書の警告に関する絵表示の意味は、次のとおりです。



注意

製品の取り扱いを誤った場合、傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度を表します。

⚠注意: 安全に正しくお使いいただくために

- ◆流量調整器は質量が大きいため、運搬にはご注意ください。また、足場の悪い場所での作業は、ケガをする恐れがありますので、十分ご注意ください。
- ◆流量調整器を落としたり、衝撃を与えないでください。壊れるおそれがあります。
- ◆流量調整器を絶対に分解しないでください。

⚠注意: 設置に際して

- ◆泥水、汚水が流入しない所に取り付けてください。故障につながる恐れがあります。
- ◆騒音を嫌う環境（一般住宅の近くなど）からできるだけ離れた所に取り付けるようにしてください。
- ◆取り付けがし易いように、十分なスペースを設けてください。
- ◆流量調整器を取り付ける前に、配管内をよく洗浄してから取り付けてください。
- ◆配管内に水が充満し、空気が混入しないように配管してください。
- ◆通水方向を間違えないように取り付けてください。※通水方向は本体部に表示しております。
- ◆流量調整器を水道メーターに付属して取り付けられる場合は、必ず水道メーターの下流側（2次側）に取り付けてください。水道メーターの上流側（1次側）に取り付けると、流量を制限することで乱流および流速の変動により水道メーターに悪影響をおよぼすこととなります。

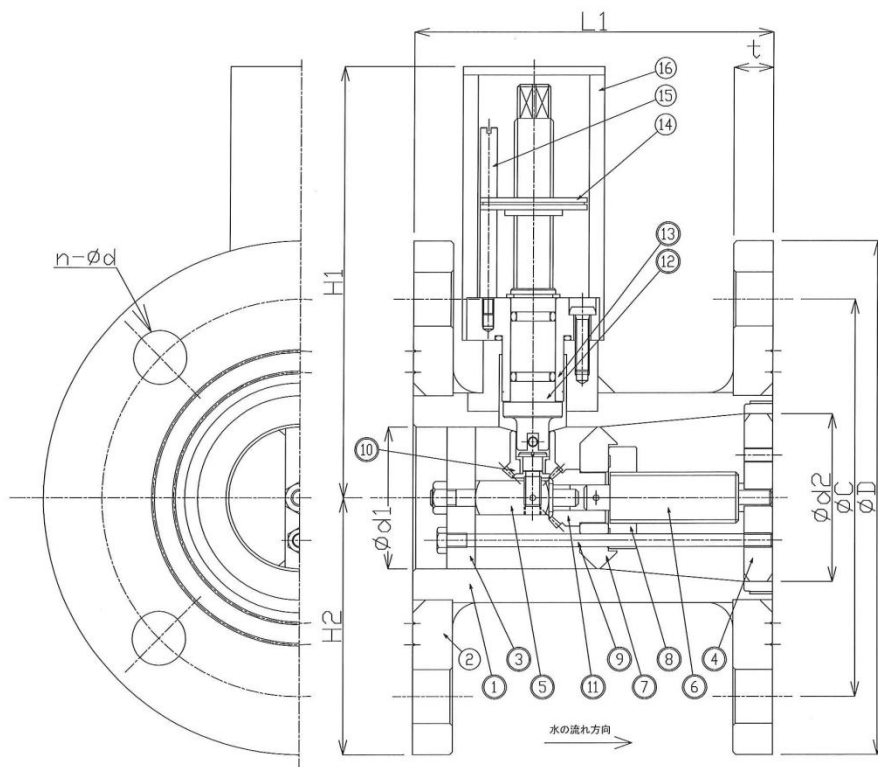
⚠注意: ご使用に際して

- ◆使用できる流体は水道水となります。
- ◆流量調整器は、最小に絞った状態でもバルブのように流れを完全に閉止しません。
- ◆本品は、目盛の位置が最小に絞った状態（1目盛）になっています。
- ◆流量設定は、バルブを閉めて必ず停水した状態でハンドル操作してください。
” 必ず付属ハンドルをご使用ください。 “
とくに、流量を制限する（少なくする）場合は、水流に逆らってフロート（流量を調整するもの）を移動させるので、無理にハンドルを操作すると故障の原因となります。
- ◆流量設定をされたあとは、水道メーターなどで設定流量を確認してください。
- ◆流量設定をされたあとは、付属ハンドルを必ず保管してください。

構造および外形寸法

【構造図】

【各部名称・材質】



部番	名称	材質
①	本体	SUS304
②	フランジ	SS400
③	流入口軸受	SUS304
④	流出口軸受	SUS304
⑤	傘歯車受	SUS304
⑥	調整軸	SUS304
⑦	フロート	SUS304
⑧	調整ねじ	エポクス *
⑨	ガイドロッド	SUS304
⑩	操作軸傘歯車	SUS303
⑪	調整軸傘歯車	SUS303
⑫	操作軸	SUS303
⑬	操作軸受	エポクス *
⑭	目盛表示リソク*	黄銅
⑮	目盛棒	SUS304
⑯	目盛カバー	アクリル樹脂

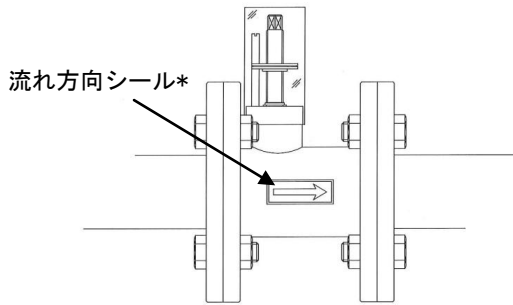
*口径・仕様によって異なる場合があります

【寸法表】

種類				寸法 (mm)									
型番	呼び径	仕様	フランジ規格	L1	d1	d2	D	C	n	d	t	H1	H2
FLC-50T-3	50	一般品	上水	127	50	60	186	143	4	19	14	152	96
FLC-75T-3	75	〃	〃	176	80	75	211	168	4	19	14	152	105.5
FLC-100T-3	100	〃	〃	213	100	96	238	195	4	19	16	172	119
FLC-150T-3	150	〃	〃	246	153	144	290	247	6	19	18	199	145
FLC-200T-3	200	〃	〃	246	200	200	342	299	6	19	20	225	171
FLC-250T-3	250	〃	〃	274	250	250	410	360	8	23	24	285	205

取 り 付 け

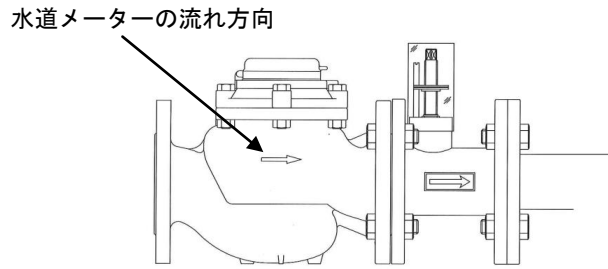
〈流量調整器を単体でご使用される場合〉



通水方向をよく確認されてから取り付けてください。

*口径・仕様によって貼り付け箇所が異なる場合があります。

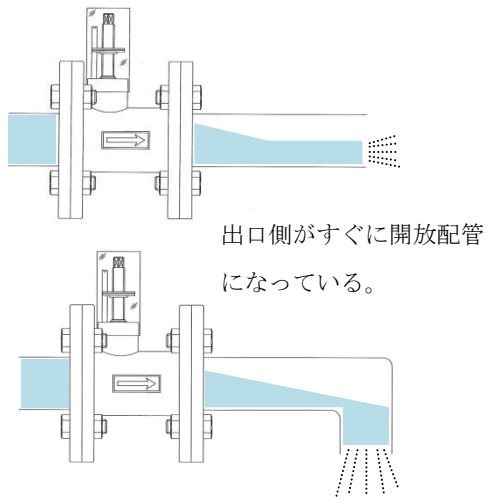
〈水道メーターに付属してご使用される場合〉



必ず水道メーターの下流側（2次側）に取り付けてください。上流側（1次側）に取り付けると、流量を制限することで、乱流および流速の変動により水道メーターに悪影響をおよぼすこととなります。

⚠注意：配管するときに

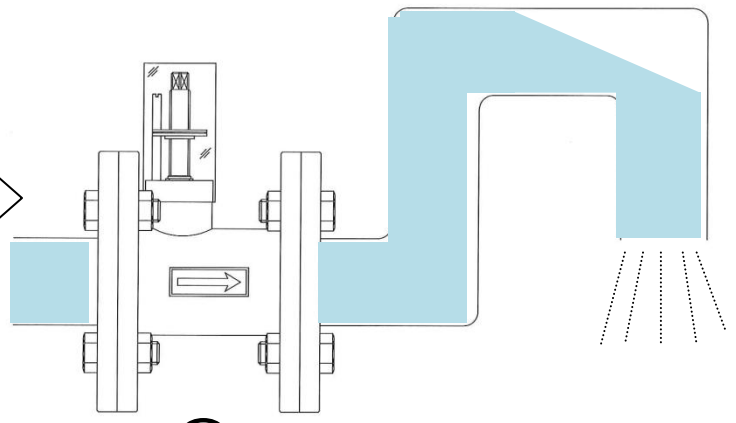
常に満水になるように配管してください。



出口側がすぐに開放配管になっている。

×

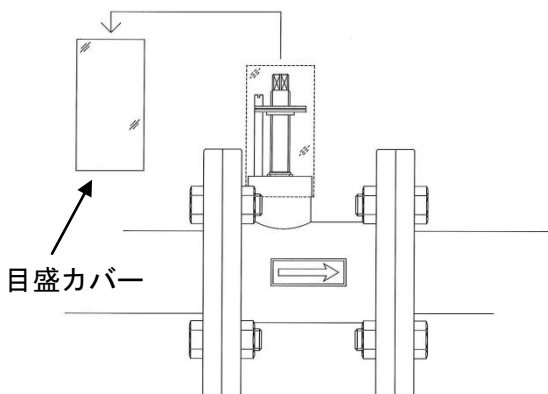
常に満水にしてください。



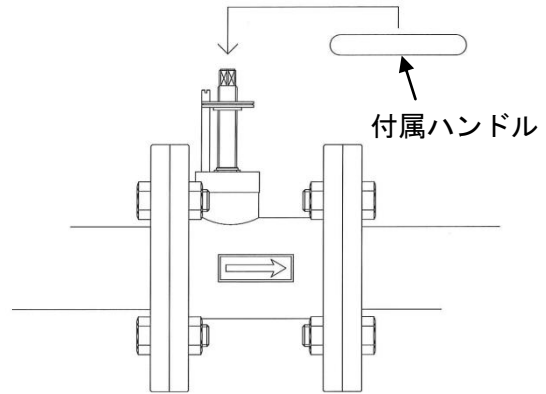
○

流 量 設 定 ※本品は、目盛の位置が最小に絞った状態（1目盛）になっているので、必ず流量設定を行ってください。

1. 目盛カバーを外してください。



2. 付属ハンドルを装着してください。

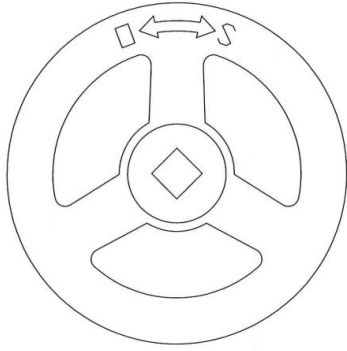


3. 現場水圧（流入側水圧）をご確認のうえ、目盛カバー内に装着されている目盛流量表をご参考にし、付属ハンドルを廻し流量設定を行ってください。 注。必ず付属ハンドルをご使用ください。

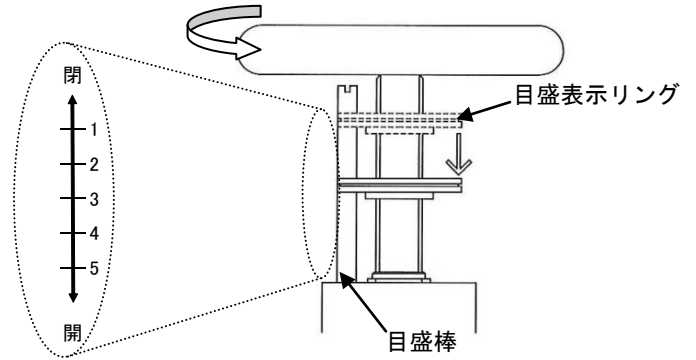
※設定後は、必ず水道メーターなどで流量を確認してください。

【 付属ハンドル 】

○ : OPEN (開く) S : SHUT (閉める)



付属ハンドルを“○”の向きに廻すと、目盛表示リングが下がります。《リング位置が下になる程、流量は多くなります》



4. 流量の確認を行ってください。

目盛流量表は目安流量値ですので、流量設定後は必ず水道メーターなどで流量を確認してください。

目 盛 流 量 表 ※水圧 (MPa) は “ 流入側水圧 ” を意味しております。

